



朝に仰ぐ²⁰²⁴

気仙沼市立津谷小学校

校長 菅原 理恵

発行日 令和7年2月25日（火）

志高く、自ら考え、たくましく未来を拓く児童の育成

令和7年も津谷っ子は快進撃！

1月には行く・2月は逃げる…とよく言われますが、早いもので今週で2月が終わります。年が明けて、あっという間に2ヶ月が過ぎようとしています。令和7年も津谷っ子の活躍は止まりません。気仙沼市小中学校書きぞめ展及び宮城県小中学校書きぞめ展では多くの児童が入選し、なんと県で部会長賞（県の最高賞）を受賞した児童もいました。また、作文宮城では県の審査を通して「作文宮城第73号」に掲載される児童が何人もおり、そのうち4年生は「推薦文」（県内4年生でただ1人選ばれるもの）に選ばれた児童がいたり、冊子の中に自作の「イラスト」が掲載された児童が何人もいました。音読朝会や音楽朝会での1年生、6年生の発表と6年生から引き継いだ5年生の活躍（司会・進行）、幼稚園や保育所の子供たちの1日体験入学での交流活動をリードした1年生、道徳の授業で、自分の考えをたくさん書いて参観していた先生方に褒められた2年生。少年消防クラブで挨拶や返事、所作をたくさん褒められた4年生、人権教室でたくさんの意見を発表し、内容が素晴らしいと褒められた3年生等々あちらこちらで大活躍している子供たちです。

来週からは3月。いよいよ今年度もあと少しです。進学や進級につながる大切な月です。まずはしっかりと登校できるように、子供たちの健康管理をよろしくお願いいたします。

地域に見守られて ～津谷っ子学びのフォーラム～

1月30日は「津谷っ子学びのフォーラム」でした。津谷小学校で初めて行う総合的な学習の時間と生活科の探究的な学びの成果を発表する会です。学習でお世話になった関係機関の方々や、地域の方々に講師としてお出でいただき、それぞれの学年やグループに助言をしていただきました。響高校の校長先生は、「地球温暖化や海水温の上昇などの環境問題をテーマにしている子が多かったのはどうしてなのか。よく調べていて感心した。」中学校の校長先生は、「小学生でもこれだけできることに驚いた。中学校での探究活動が楽しみ。」幼稚園の園長先生からは、「こんなに成長した姿を見ることができて感動しました。」など口々に良い感想をいただきました。

フォーラムでの発表を生かして、2月12日の参観日には保護者や御家族の皆様に各学年や学級で発表を御覧いただきました。その後に書いていただいた感想を見ると、励まされるような感想が多く、とても嬉しく思いました。このフォーラムは、私にとってもぜひやりたいことでした。今年度実現して心から嬉しく思っています。下記に少しだけ紹介します。

- 入学した頃に比べ話し方や行動がとても成長していて、家での違いにびっくりしました。お友達もみんな成長していて仲の良い様子が伺えました。お友達の支えがあって学校生活ができていたのだなと思いました。もちろん先生方の支えもあってこそです。いつも見守っていただきありがとうございます。
- キリバスという国を初めて知りました。地球温暖化の問題で被害にあっている国があることを教えてもらいました。息子に聞いたら、学校にその国のことを教えに来てくれた方がいて、息子なりに何かを感じたようです。「僕達が何かを頑張ったらキリバスが助かるのかな。」と話していました。その何かを学び、自分のためにも人のためにも考え行動できる人間になってほしいと思いました。
- 小学校生活最後の参観日。震災のことについて発表している我が娘を見て、涙が出そうでした。何度も授業参観には行きましたが、自らの発表は見た記憶がなかったからです。大きくなったなあと感じました。震災の発表は13年前に起きたことが頭に浮かび、「そうだったなあ」と再び考えさせられました。あの出来事は絶対に忘れてはいけない、忘れられない出来事です。皆にとってもそうであれば良いと思います。他のグループの試食も美味しかったです。ありがとうございました。